

礼拝プログラム ※主の導きにより変わる事があります

黙祷 ヨハネ16:23-24 …… 御言葉に耳を傾け心を主に向けましょう。
*賛美 …… 305番 春風そよふごと
*交読文 …… 32番
*使徒信条 …… 会衆一同
*頌栄 …… 171番 はとのごと降る
礼拝のための祈り …… 成田エクレシア:史執事 天声:小林伝道師
賛美 …… 427番 日ごとよろこび
メッセージ …… 求め続けよ、探し続けよ、叩き続けよ(ルカ 11:5-13)
御言葉を適用する祈り …… 会衆一同
賛美 …… 307番 空とぶ鳥みよ
幸せと成功の宣言文 …… 会衆一同
献金感謝の祈り …… パスター
報告 …… 次週主日は聖霊降臨日(ペンテコステ)です。
*主の祈り …… 会衆一同
*祝祷 …… パスター

天声教会は

- ・御言葉なる主の御声を忠実に聞く教会。(ヨハネ 1:1、マタイ 3:17、17:5)
- ・主の御言葉を心で信じて義に至る教会。(ローマ 10:10)
- ・全能なる主の御言葉を口で告白し、救いに至る教会。(ローマ 10:10)
- ・受けた恵みを愛と忍耐をもって実践する教会。(第二テサロニケ 3:5)

祝福の御言葉(下線にご自身のお名前を入れて宣言して下さい)

____は思いわずらったからとて、____の寿命をわずかでも延ばすことができようか。また、なぜ、着物のことで思いわずらうのか。野の花がどうして育っているか、考えて見るがよい。働きもせず、紡ぎもしない。しかし____に言うが、栄華をきわめた時のソロモンでさえ、この花の一つほどにも着飾ってはいなかった。きょうは生えていて、あすは炉に投げ入れられる野の草でさえ、神はこのように装って下さるのなら、____に、それ以上よくしてくださらないはずがあらうか。ああ、信仰の薄い者たちよ。だから、何を食べようか、何を飲もうか、あるいは何を着ようかと言って思いわずらうな。これらのものはみな、異邦人が切に求めているものである。____の天の父は、これらのものが、ことごとく____に必要であることをご存じである。まず神の国と神の義とを求めなさい。そうすれば、これらのものは、すべて添えて与えられるであろう。だから、あすのことを思いわずらうな。あすのことは、あす自身が思いわずらうであろう。一日の苦労は、その日一日だけで十分である。(マタイ 6:27-34)

私達は人生の旅路で、色々な「不足」を経験する。友人のため、子供のため、聖徒のために何かをしてあげたい。もてなしたい。けれども自分には、それができるだけの資源が無い…。主は今回の所で「たとえ」を話し、そして有名な「求めなさい、探しなさい、門を叩きなさい」という命令をされた。それは私達の諸々の不足を解決するためではあるが、この「たとえ」の内容をよく見ると、さらに深い意図が見えてくる。

ある夜、ある人の所に、突然の来客があった。しかし彼には、突然の客をもてなす資源が無かった。彼は三つのパンさえ出せないほど、持ち物が無かった。しかし彼はその客に「すまないがあまりに急に来られたので何もできない」「あらかじめアポを取ってくれていれば良かったのに」などとは言わず、彼は、人が寝静まっている夜、パンを持っている他の友人の所へと出かけて行き、寝ている友人を起こして頼み込む、という、非常に覚悟がいる事を実行した。イエス様はたとえ話の設定を、なぜこのようにされたのか。意図がある。主から何かをいただくには、求め、探し、叩く、という行動が必要で、そしてさらには覚悟と根気が必要だ、という事がここから分かる。なお、この一連の話の結論は「天の父は求める者にどうして聖霊を与えて下さらない事があるのか」で、「聖霊」をいただくためには覚悟を決め、求め、探し、叩き続ける必要があるのだ。

私達は何かと、自分の利益、自分の欲を満たす事を主に求めがちだが、このたとえの彼は、一切、自分の利益は求めている。むしろ不利益を被る覚悟を決めている。客のために、恥知らずと言われる事さえ厭わない覚悟を。彼は「パンを貸してくれ」と願ったので、後でパンを作って返す、という覚悟も決めている。彼にしてみれば、デメリットばかりの内容だが、それでも彼は、突然の友人をもてなすために、頼み続けた。

主は言われた。「友人であるから」というだけでは、起きて何かをする事は無い、と(8節)。つまり友達という「関係」にあぐらをかいていては、何も与えられないのだ。確かにイエス様は良き友、父なる神様は良き父であるが、その「関係」だけでは、起き上がって必要なものを用意してはくれない。しかし「しつこく頼み続けるなら」、と主は言われる。主は私達に「しつこく求めてくる関係」を求めておられるのだ(ルカ 18:1-7)。

日本人は特に、目の前の「相手の都合」や「状況の都合」、「世相の都合」といった壁が立ちはだかった時、そちらに合わせて、あきらめてしまう傾向が強い。それが美德とされて来たからだ。しかし不正や不純が立ちはだかっている時、それに合わせてはならない。この「夜の時代」、覚悟を決め、解決を得るまで主に求め続け、探し続け、叩き続ける姿勢を持つのだ。そうするなら、主はその人にこそ道を開いて下さる。

このたとえの中の彼は、貸してもらったパンを、ただ、友人をもてなすために用いた。同様に私達も、まことの友であられるイエス様の満足のために覚悟して聖霊を求め、そして御霊の賜物を「貸していただいた」なら、それはただイエス様の御国のために用いるのだ。主はそういう人にこそ「聖霊」を与えて下さるからだ。

9節の命令を詳細に訳すなら、「今、積極的に求め続けよ。そうするなら与えられる(受動態:与えるのは主)。今、積極的に探し続けよ。そうするなら見つかる(能動態:見つけるのは私達)。今、積極的に叩き続けよ。そうするなら、開かれる(受動態:開くのは主)」。つまり、主にお願いするのは、私達の側の仕事、探して見つけるのも、私達の仕事、与える・開くのは主の仕事で、主が与えてくださる時と場所は、主の管轄である。だから私達は、解決や必要の満たしが目の前に現れるまで、求め続け、探し続け、叩き続けるのだ。

私達は主に求める段において、よく、次のように心配する。父なる神様は、最終的には御心の通りにされるのだから、私達が、魚や卵を願い求めたとしても、願ったものではなく、逆に蛇やさそりといった試練や懲らしめが与えられるのではないか、と。心配無用である。蛇もさそりも、主からくるものではない。主は私達に、蛇やさそりを踏みつける権限を与え、その権限を実行するなら、害するものは何一つない、と言われた(ルカ 10:19)。主はむしろ「そんな心配はするな!」と、私達が願う時の心配を、バツサリ切ってくださった。

父なる神様はいつも私達に最善・最高のものを与えたいお方である。しかも、ひとり子を賜ったほどに私達を愛された。だから求める事について心配する必要は何も無い。父なる神様に求め続けるなら、必ず良いものが与えられる。この夜の時代、自分のためにではなく、良き友であるイエス様のために求め続け、探し続け、叩き続け、聖霊をいただいて大いにイエス様を満足させる働きをして行く私達でありますように!

お祈りしていただきたい事がありましたら、以下にお書きの上、教会へお持ち下さい。

第18巻21号

2023年5月21日

横浜天声キリスト教会

礼拝 週報



集会案内

主日礼拝(日曜)

日本語礼拝 11:30 開始
交わり 13~14 時
English Service 14 時半開始

日々の集会

月~金 早天祈祷会 5:00~
火・木・金 賛美と祈りの集会 13:00~
火~木 夜の祈祷会 19:00~

水曜礼拝

1 部 13:00~
2 部 19:00~

金曜祈祷会

19:00~

各礼拝はインターネットでライブ中継しております → youtube.com/c/横浜天声キリスト教会

アクセス



横浜市営地下鉄・伊勢佐木長者町駅

6 番 B 出口を出てまっすぐ徒歩 5 分

JR・関内駅より徒歩 10 分

京急線・日ノ出町駅より徒歩 10 分

関内駅から伸びる大通公園沿い、

伊勢佐木警察署の向かい対角線上にあり、
1F がファミリーマートになっております。



聖書メッセージをメールで
お届けします。
左記コードを読み込み、
空メールを送信するだけ！

〒231-0058

パスター: 林和也 川合ゆきえ

神奈川県横浜市中区弥生町 2-17 ストックタワー大通公園 I-201

TEL/FAX: 045-326-6211

Homepage: <http://voice.of.christ.yokohama/>

email: ephes_03-tensei@yahoo.co.jp

